

第2期JR坂出駅南口トリアル・サウンディング調査の結果について

令和8年5月16日
都市整備課

1. 調査の経緯

本市では、JR坂出駅を中心として、民間事業者との連携・共創によって、まちの魅力向上につなげていきたいと考えています。その取組の一つとして、令和6年9月から10月に民間事業者による主体的な活動の促進とエリアにおける市場価値や事業課題等を把握することを目的に、JR坂出駅南口の駅前広場において、移動販売車(キッチンカー)等の出店を可能とするトリアル・サウンディングを実施しました。今回は、検証期間を春・夏も含め、令和7年4月から10月の期間についての調査、検証を行いました。

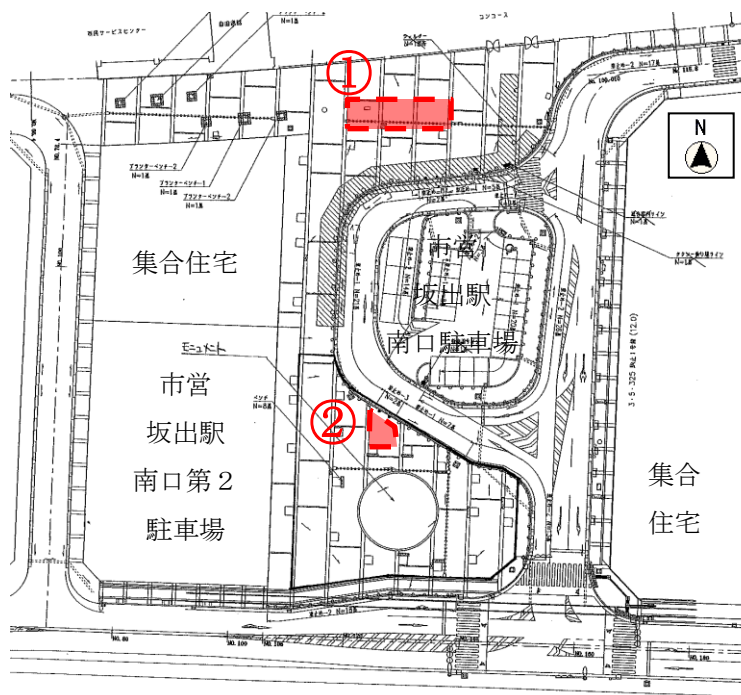
2. 調査期間

令和7年4月1日(火)～令和7年10月31日(金)

各日 午前6時から午後7時までのうち、出店者の希望する時間

3. 調査場所

- ① 市道駒止谷内線歩道(坂出市駒止町一丁目)の指定区域
- ② 坂出駅南口公園(坂出市駒止町一丁目)の指定場所



4. 参加事業者

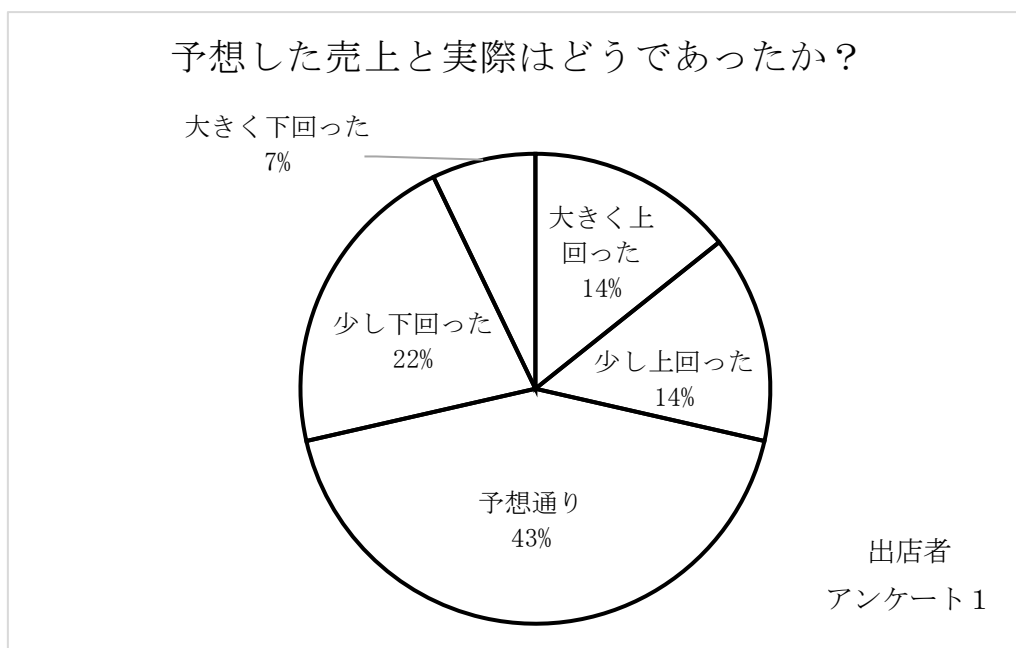
参加事業者の概要等		
実事業者数		
8 事業者	①市道駒止谷内線歩道 3 事業者	②坂出駅南口公園 5 事業者
	飲食 3 事業者	飲食 5 事業者
出店件数		
延べ 35 件	①市道駒止谷内線歩道 20 件	②坂出駅南口公園 15 件

5. 出店者および利用者からの意見（アンケートおよび聞き取り）

【出店者アンケート結果】

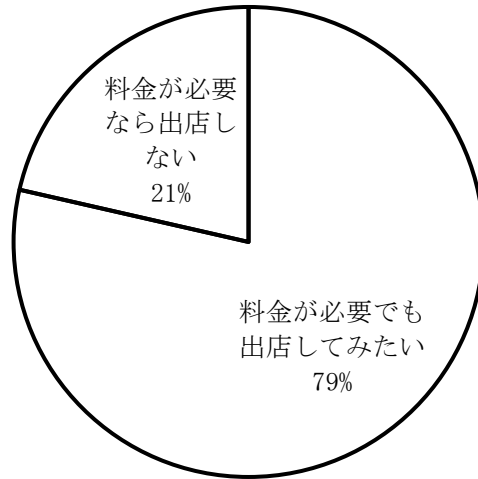
出店者回答数 14 件

※複数回出店頂いている出店者には、出店状況の変化に応じて都度アンケートの回答頂いております



出店前の売上予想と比較して売上実績が上回ったのが28%、下回ったのが29%でした。

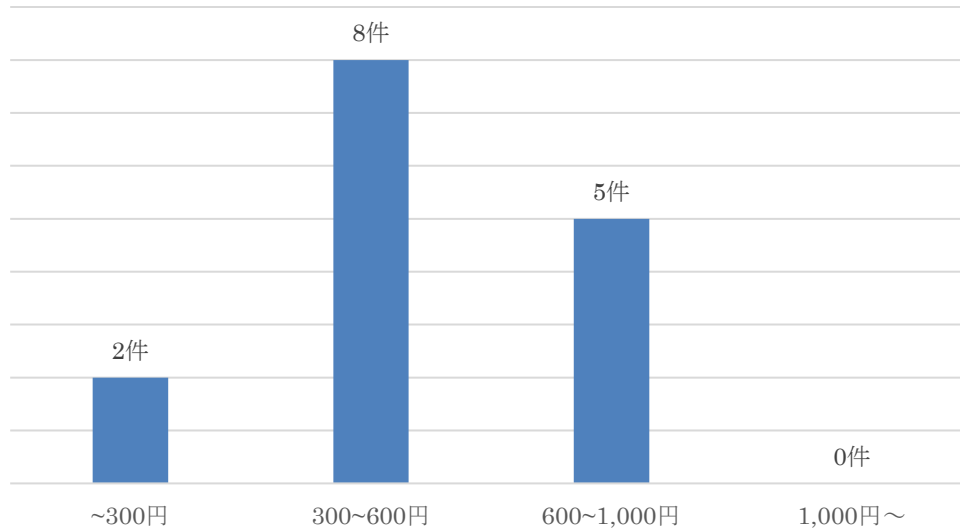
出店料が必要な場合の出店の有無？

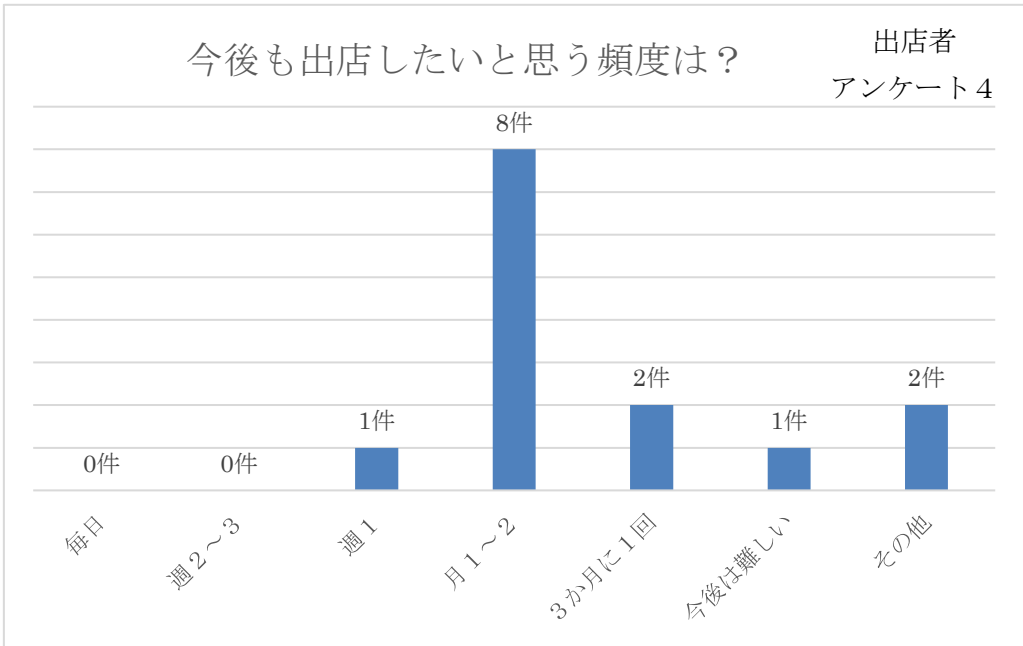


出店者
アンケート2

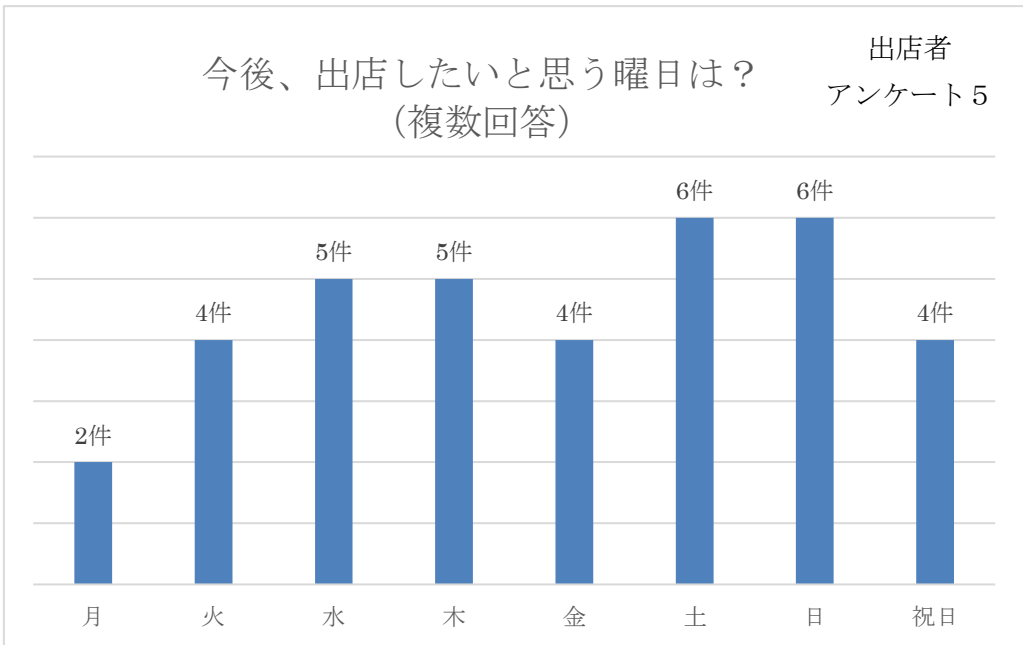
好評だった商品価格帯は？

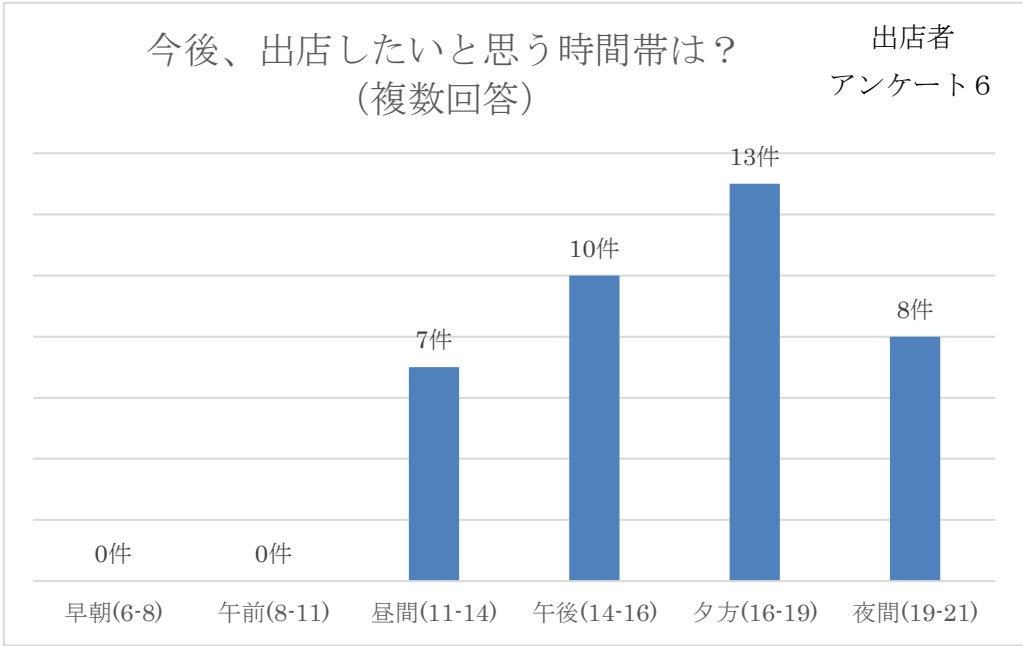
出店者
アンケート3





※「出店者アンケート4」のうち、「その他」の内容
祭り、イベント等の日





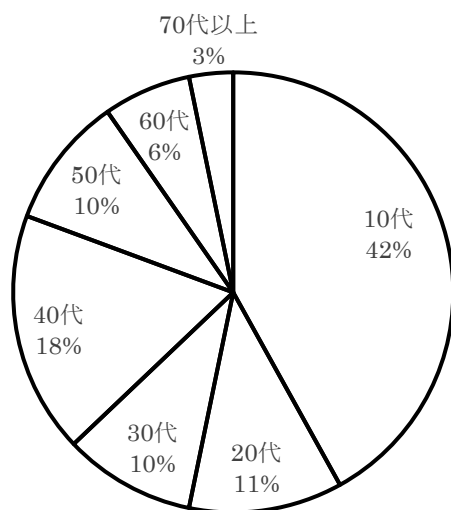
出店者アンケート7

今後の出店希望場所	件数
市役所前	2件
坂出駅北口	1件
まろっこパーク	1件

【利用者アンケート結果】

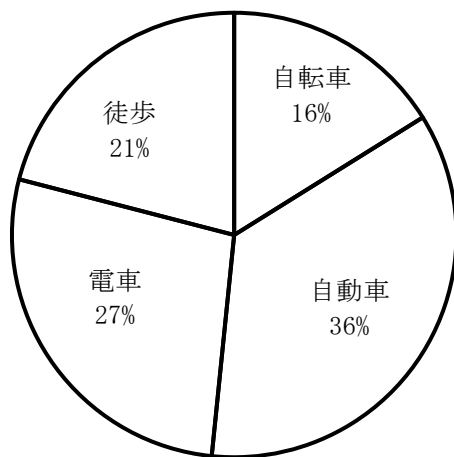
利用者回答 62件

キッチンカー等を利用した人の年代

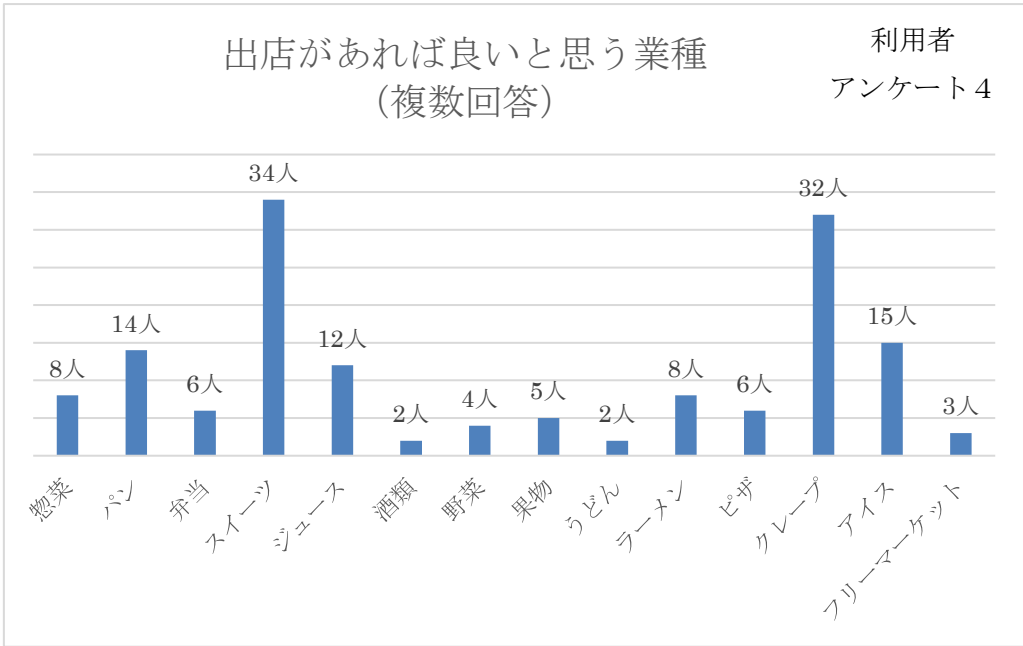
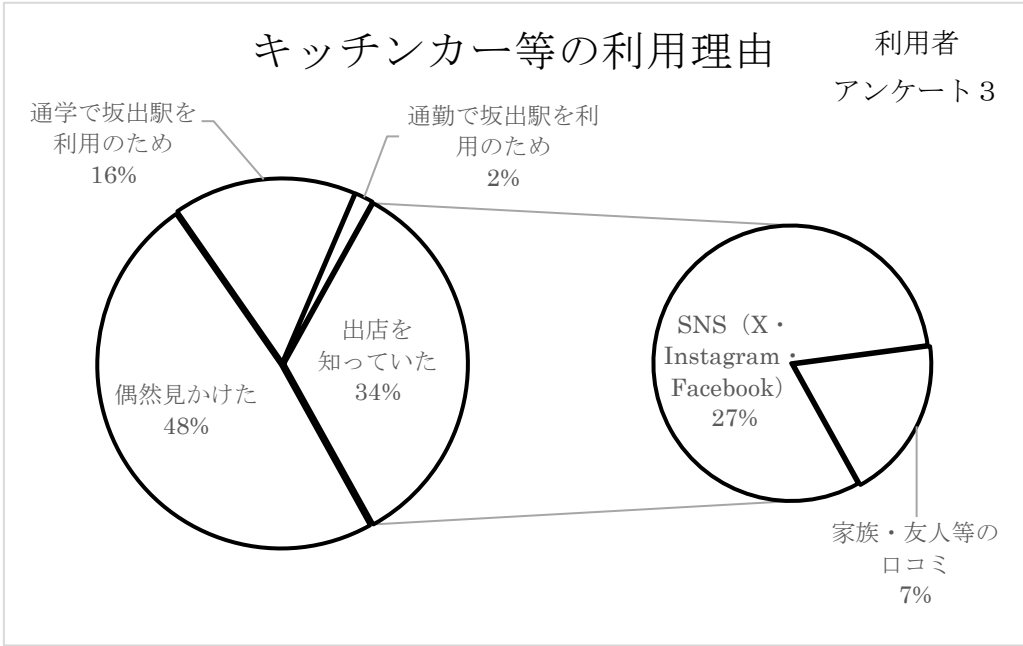


利用者
アンケート1

キッチンカー等を利用した交通手段



出店者
アンケート2



6. 今回の取組で得た意見等

(1) 出店者からの意見

- ・ 少しずつキッチンカーの出店が認知されてきた今後も継続して出店したい。
- ・ 平日は人の動きが通学と通勤に限られる為、売上は見込めない。イベントと合わせて出店できれば、売上が見込まれる。
- ・ 駅前については、売れる時間と人が決まっている。
下校中の高校生と仕事帰りの人、近くの家に住んでいて夕食の人
3パターン
- ・ 地域に住んでいる人からは駅の周りに食べる所が少ない、学生からは駅前で留まる場所がないという意見があった。
駅周辺に何もないからであり、積極的に駅前でイベントをすれば集まるのではと考える。
- ・ 夜でもお酒を提供するキッチンカーが出れば、仕事帰りの人が集まるのではないかと考える。
- ・ 出店料を低く設定して営業すれば、それなりの人が集まると思います。
- ・ 今後もキッチンカーが出店できる場所が増えて欲しい。
- ・ 複数台でのキッチンカーが出店できれば、より集客が見込まれる。
- ・ 暑い時期は人通りが少なく、売上も見込めない。
- ・ ホームページ以外にも出店状況がわかるものがあればよい。

(2) 利用者からの意見

- ・ 駐車場が欲しい (20代 1件)
- ・ 遊び場を増やして欲しい (10代 2件)
- ・ 複数のキッチンカーが来て欲しい
(10代 1件、40代 1件、50代 1件)
- ・ もっと活性化してほしい (10代 1件)

7. 取り組み結果の考察と今後の検討

利用者アンケートの回答結果より、出店したキッチンカーの利用者年齢層は、10代から30代の若年層が過半を占めている。

また、出店希望時間の傾向より、通勤・通学のピークである夕方の利用が多いことが見込まれる。特に通勤・通学の多い平日では、その時間帯に

ターゲットを絞ることで、より効果的であると見込まれる。

さらに、スイーツやクレープの出店希望が多いことから、帰宅途中、お土産等として気軽に楽しめる商品への需要が高いと見込まれる。

一方で、定期的な出店要望があるにもかかわらず、「出店を知っていた」割合が4割未満である。したがって、周知方法の改善により、さらなる集客が見込まれる。加えて、複数台での出店の検討や、暑い時期を避けること、または遮熱対策の実施に加え、各種イベントと連動した時期調整を行うことで、利用者の増加が期待できる。

現在、坂出市中心市街地活性化公民連携事業により、**JR** 坂出駅南口にバスロータリーが整備されている。今後も坂出駅を中心に再開発が進む見込みであることから、バス利用者の安全な導線を確保するとともに、再開発の進捗状況に応じて出店可能区域を検討する必要がある。